

# 平成30年度 推薦入学者合否判定基準

沖縄県立球陽高等学校

## I 合否判定方針

本校は全員が大学進学を目指し、新しい時代に対応できる個性と創造性豊かな活力ある人材の育成を目指す高等学校として設立された。

そのような本校の生徒としてふさわしい学力を身に付け、心身共に健康な者を選抜するために、中学校より提出された書類に基づいて次の各事項を審査し、かつ適性検査及び面接の結果を加味して、学業成績並びに人物を総合的に判断して合否を決定する。

## II 合否判定基準方針

平成30年度の本校の学科ごとの募集人員（理数科：160名、国際英語科：120名）の30%程度（程度とは±5%の範囲）と5%以内の特別枠の範囲を設定する。

## III 選抜の方法

各中学校長から提出された以下の書類、適正検査および面接に基づき推薦入学者を決定する。

- (1) 調査書…「各教科の学習の記録」「行動の記録」「総合所見」「出欠の記録」
- (2) 適性検査 … 最高70点  
※理数科は数学の得点を1.5倍、国際英語科は英語の得点を1.5倍する。  
国語の得点（20点）  
数学の得点（20点）  
英語の得点（20点）
- (3) 面接

## IV 審議条項

以下の事項に該当する者は、判定会議において審議する。

- (1) 出席状況：いずれかの学年において欠席、遅刻、欠課10回以上の者
- (2) 適性検査：科目の得点が0点である者
- (3) 面接：面接の評価がCの者
- (4) その他：特に審議を要する者

## V 審議の手順（理数科、国際英語科とも同じ手順）

- (1) 総合点を算出する
- (2) 各受検生をそれぞれ総合点の高い順に整列
- (3) 審議条項を持っている受検生の確認
- (4) 各圏の設定を行う
  - ① 特別推薦枠…募集人員の5%
  - ② A圏…募集人員の30%の95%以内
  - ③ A'圏…A圏で審議条項を持つ者
  - ④ B圏…推薦枠の120%以内でA圏の者を除く
  - ⑤ C圏…上記の圏を除く全ての受検生
- (5) 以下の順序で各圏の審議を行う
  - ① 特別推薦枠の審議を行う
  - ② A圏の審議を行う
  - ③ 帰国子女等の者を審議する
  - ④ A'圏の審議を行う
  - ⑤ C圏の中から、顕著な成績がある者をB圏に引き上げる
  - ⑥ B圏およびA'圏で保留になった者、C圏から引き上げた者の審議を行う

